

第1学年 音楽科 年間学習計画と評価

1 学年の目標等について

目 標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。 (2)音楽表現を創意工夫することや音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 (3)主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。
教科書	中学生の音楽1(教育芸術社)、中学生の器楽(教育芸術社)
副教材等	「MY SONG」(教育芸術社)

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	・音楽を形づくっている要素や要素同士の間連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	・音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
・授業の様子や発言内容 ・授業における練習の様子 ・ペーパーテスト ・実技テスト(演奏・聴き取り等) ・ワークシート等への記述内容 ・作品(創作)やレポート など		

3 学習についてのアドバイス

学 校	・音楽の約束(音符、拍子、音階、和音、強弱記号、速度記号など)を理解し、それらを生かして音楽の活動(歌唱、器楽、創作、鑑賞)に積極的に取り組みましょう。 ・曲の特徴やよさを理解し、それにふさわしい表現(演奏)ができるよう工夫しましょう。 ・楽器の構造や特徴を理解し、それらを生かして演奏しましょう。 ・自分の声(音)だけでなく周りの声(音)をよく聴き、他の人と話し合ったり、アドバイスし合ったりしながら、よりよい演奏となるよう工夫しましょう。 ・音のつながりに気をつけ、旋律やリズムを自分なりに工夫して創作しましょう。 ・作曲家や作詞者の思い知り、声や各楽器の音色、曲のつくり方などに気をつけて鑑賞しましょう。 ・ワークシートには、自分の思いや考え、感じたこと(感想)を書きましょう。
家 庭	・日常の生活において流れている音楽に耳を傾けましょう。 ・興味をもった曲の作曲家、音楽の特徴やその背景となる文化や歴史を自分で調べてみましょう。

4 題材・目標等について

月	題 材	題材の目標	教 材
1 学 期	【表現】新しい仲間との びのびと歌おう	・ のびのびと明るい声で歌おう。 ・ 作者のメッセージを受け止め、思いをこめて 歌おう。	校歌 その先へ
	【表現】曲のつくりを感 じ取って歌おう	・ 曲のつくり（構成）を感じ取って歌おう。	主人は冷たい土の中 に
	【表現】パートの役割を 感じ取り混声合唱に慣れ よう	・ 合唱にふさわしい発声法で歌おう。 ・ 混声合唱のしくみを理解し、パートの役割を 感じ取って合唱しよう。	My Voice! 朝の風に
	【鑑賞】音楽を通して描 かれた情景を思い浮かべ その工夫を聴きとろう	・ 音楽の特徴に注目しながら、情景を思い浮か べて聴こう。	「春」
	【表現】日本の歌のよさ や美しさを感じ取ろう	・ 情景を思い浮かべ思いをこめて歌おう。	浜辺の歌（共通教材）
	【創作】イメージと音楽 との関わりを感じ取ろう	・ イメージをもたらし音楽の秘密を探ろう。 ・ 構成を工夫して、3つの場面の音楽をつくろ う。	ジョーズのテーマ Let's Create!
2 学 期	【表現】指揮の基本を知 ろう	・ 合唱コンクールに向けて、指揮の基本を身に つけよう	指揮をしてみよう！
	【表現】曲想やパートの 役割を感じ取って、仲間 と心をあわせて歌おう	・ 合唱にふさわしい発声法で歌おう。 ・ パートの役割を感じ取り、曲想を活かして合 唱しよう。	春風の中で 合唱コンクールの曲
	【鑑賞】曲想と音楽の構 造との関わりを聴き取ろ う	・ 曲想と音楽の特徴との関わりを感じ取って聴 こう。	「魔王」
	【創作】音のつながり方 の特徴を活かして表現を 工夫しよう	・ 音のつながり方の特徴を生かして旋律をつく ろう。	リズムアンサンブル、 リズムチャレンジ My Melody
3 学 期	【表現】日本の歌のよさ や美しさを感じ取って、 歌唱表現を工夫しよう	・ 情景を思い浮かべながら、思いをこめて歌お う。	赤とんぼ（共通教材） 歌い継ごう 日本の歌
	【表現】日本の伝統的な 楽器である箏に親しもう （【鑑賞】を含む）	・ 箏の歴史や楽器の構造を理解しよう。 ・ 正しい奏法で箏を弾こう。 ・ 箏曲の魅力を味わおう	さくらさくら（箏） 箏曲「六段の調」
	日本の伝統的な音階に親 しもう	・ 日本の音階を使ってまとまりのある旋律をつ くろう。	My Melody
	【鑑賞】雅楽の魅力を味 わおう	・ 1300年前に大陸から伝わった音楽である雅楽 のよさを味わおう	雅楽「平調 越天楽」
	【表現】曲の構成や曲想 の変化を 感じ取って、仲間と心を あわせて歌おう	・ 曲の構成や曲想の変化を感じ取り、曲にふさ わしい発声法で歌おう ・ 卒業式での合唱の意義を感じ取って歌おう。	卒業式 式歌 国歌「君が代」・校歌

